

### 3 展 示

#### (1) 常設展示

『未来へつなぐ熊本の記憶 一集める・伝える・創造する一』をテーマとし、1階は熊本の歴史や文化について、2階では人と自然の関わりを中心に紹介している。

展示資料とともに、キオスク端末による映像資料や解説等も行っている。また、音声ガイドによる外国語ガイド（英語・韓国語・中国語）も導入している。

#### 波奈之丸展示室

重要文化財「細川家舟屋形」（藩主細川氏が使用した御座船「波奈之丸」の船屋形部分）を展示している。大藩で用いられた海御座船の舟屋形としては、国内で唯一現存するものである。

#### 才園古墳展示室

重要文化財「肥後国球磨郡免田才園古墳出土品」を展示している。鍔金獣帯鏡や豪華な金銅製馬具類、装身具類、鉄刀などがある。鍔金獣帯鏡は普通の鏡より上位に格付けされ、九州南部の内陸交通の要衝であった人吉盆地の有力者に、近畿中央政権から贈与されたと考えられている。

#### 1階 人文系展示

「熊本の歴史と文化の由来をさぐる」

旧石器時代から中世、そして現在の市街地の基礎が形成された近世を経て、近代の都市・軍都へと変貌した熊本の歴史について紹介している。

#### 2階 自然系展示

「熊本の自然にひそむ魅力と不思議に気づく」

地質分野では、熊本で見つかった化石、岩石、鉱物等の展示により大地の生い立ちを解説している。

生物分野では、熊本市内の身近な自然として、江津湖と金峰山の生態等について紹介している。

#### 縣市連携展示室

熊本県博物館ネットワークセンター所蔵の自然系資料を展示している。



考古展示室



歴史展示室



民俗展示室



地質展示室



生物展示室

## (2) 常設展示入替

### ア 考古分野

期 間 7月20日(土)～

内 容 蔵出し考古展 2019 鏡・玉・剣  
令和改元を記念した展示

場 所 「弥生時代」「古墳時代」「奈良・平安  
時代」展示ケース

### イ 歴史・美術分野

期 間 4月9日(火)～6月23日(日)

内 容 刀剣類2振(茶漆塗鞘糸巻太刀拵およ  
び刀(無銘)／黒漆塗印籠拵および刀  
(無銘))

場 所 「肥後の武士たち」展示ケース

期 間 5月8日(水)～2月9日(日)

内 容 陶磁器4点(小代焼 布袋置物／松尾  
焼 象嵌唐草七宝雷文香合／網田焼  
白磁兔香合／高田焼 象嵌花唐文茶  
碗)

場 所 「成熟する肥後」展示ケース

期 間 6月25日(火)～9月8日(日)

内 容 刀剣類2振(黒蠟色塗刀拵および太刀  
(国時)※紀州徳川家伝来・特別貴重  
刀剣／黒漆塗打刀拵および刀(表銘:  
肥後同田貫宗廣、裏銘:嘉永三年三月  
日))

場 所 「肥後の武士たち」展示ケース

期 間 9月10日(火)～11月4日(月・振)

内 容 刀剣類2振(薙刀(表銘:肥州住藤原  
清国、裏銘:四十内廿一)／刀(銘:  
藤原貞行)味噌天神所蔵)

場 所 「肥後の武士たち」展示ケース

期 間 11月4日(月・振)～

内 容 加藤清正書状(蟹江家文書)  
細川忠利所用僧頭巾形兜  
(熊本城頭彰会)

場 所 「戦国大名加藤清正」「大名細川氏」  
展示ケース

期 間 11月6日(水)～12月28日(土)

内 容 刀剣類2振(刀(無銘、伝国行)／黒  
漆塗太刀拵および刀(表銘:伯耆守平  
朝臣正幸、裏銘:斎藤権左造之寛政六  
年寅二月)近津鹿嶋宮所蔵)

場 所 「肥後の武士たち」展示ケース

期 間 1月4日(土)～2月20日(木)

内 容 刀剣類2振(刀(表銘:肥州菊池住惟  
義、裏銘:以菊池川砂鉄鍛之)／刀(表  
銘:平鑑祐、裏銘:鴨尾七右衛門尉討

西川与助時腕杖股膝打落畢)

場 所 「肥後の武士たち」展示ケース

期 間 1月28日(火)～

内 容 細川忠利書状(三宅家文書)

場 所 「成熟する肥後」展示ケース

期 間 2月21日(金)～

内 容 刀剣類1振(大身槍(表銘:九州肥後  
同田貫□□□次兵衛、茎裏に「二十」  
※□は解説不可)

場 所 「肥後の武士たち」展示ケース

期 間 2月11日(火・祝)～

内 容 陶磁器3点(上村焼 褐釉鶴首徳利/  
八代焼 灰釉獅子香炉/小代焼 流  
釉壺)

場 所 「成熟する肥後」展示ケース

## ウ 民俗分野

### 七夕展示

期 間 6月18日(火)～9月1日(日)

内 容 笹飾り

場 所 昭和の家(常設展示)

### 雛人形展示

期 間 2020年2月11日(火・祝)  
～2月28日(金)

内 容 這子人形・オキアゲの雛人形・古今雛

場 所 町屋・昭和の家(常設展示)

### 五月人形展示

期 間 2019年3月27日(水)  
～5月11日(土)

内 容 兜飾り・金太郎人形

場 所 町屋・昭和の家(常設展示)

## エ 自然分野導入展示

期 間 10月1日(火)～

内 容 黄土色ってどんな色

2019年度博物館実習生製作展示

場 所 「ふしぎ発見のとびら」展示ケース

## (3) 期間展示

### ア 端午の節句特集展示

期 間 4月27日(土)～5月26日(日)

内 容 横矢旗《賤ヶ岳合戦図》

場 所 「成熟する肥後」展示ケース

### イ 新春特別公開 明智光秀書状

期 間 1月7日(火)～1月26日(日)

内 容 明智光秀書状(三宅家文書)

場 所 「成熟する肥後」展示ケース

#### (4) 展覧会

※関連イベントの詳細については、後述「6 行事・イベント」(P47～) 参照

##### ア 特別展

###### (ア) 世界の昆虫

期 間 7月20日(土)～8月25日(日)

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 熊本市内で自然環境調査会社を営んでおられた三宅純男氏(故人)が、長年にわたって収集した昆虫コレクションの一部を紹介。世界各地のカブトムシ、クワガタムシ、タマムシ、セミ、ナナフシ、チョウなど、美しいもの、面白い形をしたもの、今では手に入れることのできないものなど、珍しい昆虫の標本148箱約2400点を展示。併せて、昆虫写真家の栗林慧氏による迫力のある写真や、実際にそれらを撮影したカメラ等の機材も展示した。

入場者数 17126名

##### 関連行事

###### ①栗林慧トークショー「小さい生命を撮る」

日 時 8月4日(日)

11時～11時50分

14時45分～15時35分

場 所 プラネタリウム室

###### ②学芸員によるミュージアムトーク

8月10日(土)、8月20日(火)、

8月24日(土)、8月25日(日)

いずれも14時～14時30分



チラシ(表)

(裏)



展示室の様子



トークショー後の様子



ミュージアムトーク

(イ) 熊本城特別公開記念

追憶の熊本—画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶—

期 間 10月5日(土)～11月24日(日)

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 旧制・熊本中学校の美術教員を務めた日本画家・甲斐青萍(1882-1974)が描いた熊本城下の町並図や風俗図を中心に、関連する歴史資料や美術作品を交えながら、熊本城下の歴史的変遷を辿る展覧会。

観覧者数 1366名

関連行事

①事前講座

「忘れられた画家?! 甲斐青萍～秋季特別展《追憶の熊本》に向けて～」

9月21日(土) 10時～11時

②講演会

「甲斐青萍が描いた熊本町並図から見えること」

10月12日(土)

13時30分～15時30分

③くまもと県民カレッジリレー講座

「画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶」

10月15日(火) 14時～15時

④「熊本城下まち歩き」

10月26日(土) 13時30分～15時30分

⑤講演会

「熊本地震からの城下の復旧について」

11月4日(月・振)

13時30分～15時

⑥学芸員による展示解説

10月5日(土)、11月2日(土)、

11月9日(土)・23日(土・祝)

いずれも14時～14時40分

※11月23日は特別ゲストとして「熊本城おもてなし武将隊」が参加。



チラシ(表)

(裏)



特別展示室1 展示風景



特別展示室2 展示風景



特別展示室3 展示風景



展示解説

イ 企画展

(ア) きらめく！大名道具

—細川家の「華」と「武」の世界—

期 間 4月20日(土)～7月7日(日)

場 所 特別展示室1・2

内 容 熊本県立美術館と初の連携展として開催。公益財団法人 永青文庫所蔵品を中心に、大名細川家の「華」と「武」をテーマとして、藩主婦人が使用した調度品類や藩主が着用した武具甲冑などを展示。なお、熊本県立美術館では「きらめく！大名道具—細川家の「文」の世界—」として、絵画や能面などが展示された。両館を観覧いただくことで、大ボリュームかつ幅広いテーマの「大名道具」を観賞できるものとした。

来館者数 19486名 ※会期中の博物館入場者数

関連行事 リレーミュージアムトーク

5月6日(月・振)

6月9日(日)

いずれも13時30分～15時

※両日、特別ゲストとして「熊本城おもてなし武将隊」が参加。



特別展示室 展示風景



リレーミュージアムトーク

(イ) 自然のおいしい味わい方

期 間 6月8日(土)～7月7日(日)

場 所 特別展示室3

内 容 生物分野では、動植物の資料や標本と実際に調理した写真やレシピなどを展示し、生物学的な背景や人間との関わりなどを関連付けて解説した。地質分野では、岩石・鉱物・化石を食器などの演示具で全く別の食べ物に見せる演出を行い、「なぜ両者が似ているのか？」という視点から、その石が持つ形態や成因などの特徴を紹介した。

来館者数 8039名 ※会期中の博物館入場者数

関連行事 ミュージアムトーク

(動物) 6月16日(日)

(植物) 6月23日(日)

(地質) 6月30日(日)

いずれも14時～14時30分



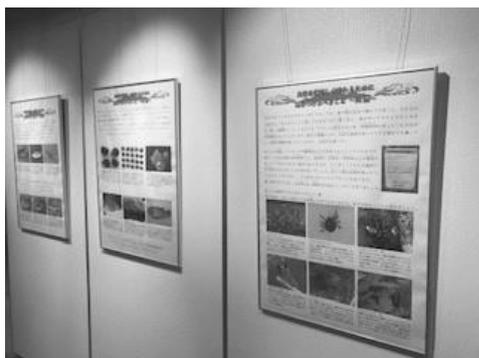
チラシ(表)



(裏)



展示室の様子



展示室の様子

②講演会「我が師 宮本常一」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3月14日(土) 13時30分～15時

特設コーナー設置(協力施設)

- ・くまもと森都心プラザ図書館
- ・熊本市立図書館
- ・熊本県立図書館



展示室の様子



特別展示室2

(ウ)「旅の巨人」と呼ばれた民俗学者・

宮本常一 —熊本で見つけたモノ—

期 間 2月8日(土)～3月22日(日)

※臨時休館のため2月28日で終了

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 民俗学者・宮本常一の生涯と、その旅の過程を追うとともに熊本で見つけたモノとは何かを探った。また、宮本を旅に駆り立てた、地域における教育への思いに迫った。国指定重要有形民俗文化財「周防大島東部の生活用具」の一つとして指定された肥後犁(ひごすき)をはじめ、宮本常一の直筆原稿や調査ノート、写真などを展示した。

来館者数 3435名 ※会期中の博物館入場者数

関連行事

①講演会「宮本常一、旅の足跡」

2月8日(土) 13時30分～15時



特別展示室1



特別展示室3

(エ) パネル巡回展「潜水調査船がみた深海生物」  
 期 間 3月25日(水)～5月24日(日) 予定  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催延期  
 場 所 特別展示室3  
 主 催 熊本博物館  
 企画・制作 海洋研究開発機構(JAMSTEC)  
 協 力 全国科学館連携協議会  
 内 容 有人潜水調査船「しんかい 6500」や無人探査機「ハイパードルフィン」などのカメラがとらえた、神秘的な深海生物の写真展示。



展示室の様子

ウ 共催展

(ア) 第11回地質の日企画  
 「身近に知る『くまもとの大地』」  
 期 間 5月12日(日)～6月2日(日)  
 場 所 特別展示室3  
 主 催 「地質の日」くまもと実行委員会  
 熊本博物館  
 内 容 熊本県内の大学・博物館・地質関連団体が共同で「くまもとの大地」に関する展示を行った。植物食恐竜プロバクトロサウルスの全身骨格や姉妹都市モンタナ州産のティラノサウルスの頭骨も展示した。併せて、びぶれす広場でも同様の展示と体験イベントを行った。

来館者 3463名 ※会期中の博物館入場者数  
 関連行事 びぶれす広場でのイベント  
 (各種団体出展)  
 5月11日(土) 10時～16時



(イ) くまもと工芸会館 企画展

「暮らしを支えた民藝展」  
 期 間 8月9日(金)～8月25日(日)  
 場 所 くまもと工芸会館  
 主 催 くまもと工芸会館  
 共 催 熊本国際民藝館・熊本博物館  
 内 容 全国各地の民藝品と妖怪を題材とした郷土玩具を展示。  
 来場者 933名  
 関連行事

- ①講演会「郷土玩具と妖怪」  
8月11日(日・祝) 10時～11時30分
- ②講演会「民藝との出会い」  
8月18日(日) 10時～11時30分



展示室の様子



妖怪の郷土玩具

(ウ) 国立科学博物館・コラボミュージアム  
in くまもと 生命のれきし  
—君につながるものがたり—

主催 国立科学博物館 熊本博物館  
期間 12月3日(火)～1月26日(日)  
場所 特別展示室3  
内容 国立科学博物館と熊本博物館の標本を  
共に展示するコラボミュージアム事業。  
約38億年前の地球最古の岩石、大型生  
物エディアカラ生物の化石、初期の植物  
化石、恐竜の全身骨格、哺乳類化石など  
をもとに地球46億年の歴史をたどる展  
示。

来館者 9593名 ※会期中の博物館入場者数  
関連行事

- ①アロサウルスになってみよう  
多目的スペースにて会期中毎日実施。
- ②ぬりえで復元！ステゴサウルス  
12月28日(土)  
10時～、12時～、14時～
- ③講演会「きみの耳には恐竜がいて？！  
だから、きみは哺乳類」  
1月11日(土) 15時～16時30分
- ④ミュージアムトーク  
1月26日(日) 14時～14時30分



展示室の様子



アロサウルス体験

エ その他

第53回 肥後しゃくやく展  
開催日 5月4日(土・祝)  
5月5日(日・祝)  
場所 塚原歴史民俗資料館 研修室  
内容 肥後芍薬を切り花にて展示。



チラシ(表)



(裏)



会場の様子